

編集後記

「事前復興」の定義は、その対象とする時期、分野、人、検討内容について、関係者内でも認識に幅がある言葉だと思っています。加えて、「被災後の復興対策を準備しておく」といった事前の計画策定や行動計画だけでなく、「事前に被災したつもりになって、被災後に復興で目指す高台移転等を事前に実施する」といった、実施する復興計画まで踏み込んだものも見受けられます。阪神・淡路大震災後に本格的に始まった「事前復興」の取組みも、東日本大震災を経て、より多くの地域で、多様な活動がみられます。

そのため特集では、まず、総論で、1990年代から東京を中心に、行政や地域社会に対して、事前復興の考え方を「復興模擬訓練」等で広げていった中林氏に、わが国の事前復興の道のりをまとめていただきました。その上で、現在、事前復興の活動を積極的に実践している自治体の職員の方々や、研究と実践を通して事前復興の取組みを進めている若い世代の研究者を中心に、その取組みと自らが考える事前復興について執筆していただきました。本特集は、ごく一部ではありますが、わが国の「事前復興」の現在とその将来を、読者に伝えることを目指しました。

また、本号では、1本の投稿をいただきました。

さいごになりましたが、執筆の労、校正の労を惜しまず尽力してくださったみなさまに、あらためて感謝の気持ちをお伝えします。ありがとうございました。（石川永子）

第16号特集編集担当：石川永子 アドバイザー：田中正人

学会誌編集委員会委員名簿

委員長	山崎栄一	関西大学
副委員長	北後明彦	神戸大学
副委員長	大矢根淳	専修大学
幹事	近藤誠司	関西大学
委員	石川永子	横浜市立大学
	石原凌河	人と防災未来センター
	近藤民代	神戸大学
	田中正人	株式会社都市調査計画事務所
	田並尚恵	川崎医療福祉大学
	福留邦洋	東北工業大学
	山地久美子	大阪府立大学

日本災害復興学会誌 復興 通巻 第16号 (Vol. 7 No. 4)

2016年9月25日 発行

発行者 日本災害復興学会

事務局 〒662—8501西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学災害復興制度研究所 内

日本災害復興学会事務局 TEL. 0798-54-6996
